

【資産運用関連】

19. 堅実な資産運用をしてほしい

当社は、保険契約に基づく保険金・給付金等を将来にわたり確実にお支払いすることが保険会社の使命であるとの認識のもと、サープラス・マネジメント型ALM（注）の考え方にに基づき、中長期的に安定的な収益を確保するため、公社債ならびに貸付金などの安定収益資産をポートフォリオの中心に据えた資産運用を行なっています。

具体的には、公社債や貸付金といった安定収益資産で運用することを基本に、適切なリスク管理のもと、外国証券や株式、不動産などの資産にも投資を行なうことで超過収益の獲得をめざしつつ、長期、円建て、固定利率という特徴をもつ生命保険契約に係るお支払いに備えています。

なお、足元では、日銀による国債の大量買入れやマイナス金利の導入を受け、超低金利環境が継続していることに加え、欧州の政治イベントや、中東やアジア隣国の問題など地政学リスク等を背景に金融市場が不安定な状況であることから、国内外の金利や為替の動向に留意しつつ、外貨建債券への投資を増やすなど市場環境に対応した効果的な投融資を実施しています。

あわせて、市場急変時への備えとして、国内金利上昇の予兆管理の高度化を進めるとともに、株価の下落や円高進行に対応したコンティンジェンシー・プランを段階的に整備しています。

今後も、財務健全性の維持と収益性向上に継続的に取り組んでまいります。

（注） 経済価値<市場価額あるいは将来キャッシュ・フロー等に基づいた市場整合的な価額>で評価した資産価値と負債価値の差額を資本概念（サープラス）として捉え、その変動リスクをコントロールするALM<資産と負債の総合的な管理>を、サープラス・マネジメント型ALMと呼称しています